

議 事 録

会 議 名	第8期第1回寒川町まちづくり推進会議		
開 催 日 時	令和4年7月26日(火) 午後3時 ～ 午後5時		
開 催 場 所	自宅等、本庁舎3階 議会第2会議室（オンライン開催） 傍聴：別館2階災害対策本部室		
出席者名、欠席者名及び傍聴者数	<p>○出席委員</p> <p>山下委員、中島委員、橋口委員、星委員、小菅委員、大関委員、金子（巖）委員、金子（一）委員、吉田委員、金子（洋）委員、庭野委員、小泉委員、織田委員、杉下委員、安田委員</p> <p>○欠席委員</p> <p>相田委員</p> <p>○事務局</p> <p>戸村町民部長、岡野町民協働課長、栢沼主査</p> <p>○傍聴者数</p> <p>0名</p>		
議 題	（1）今期会議のスケジュール、及び検討項目（資料2，3）		
決 定 事 項	<p>1 会長副会長の選出：会長杉下委員、副会長橋口委員に決定</p> <p>2 議事録承認委員：山下委員、中島委員</p> <p>3 協議テーマの決定</p> <p>1) 協働のシンボルマーク</p> <p>2) 公募委員サロン</p> <p>4 委員の推薦について</p> <p>1) わたしの提案制度褒賞審査会：庭野委員、相田委員</p> <p>2) 協働事業選考委員会：杉下会長、橋口副会長、山下委員</p> <p>3) 指定管理者選定委員会：杉下会長</p> <p>5 次回会議は、10月14日(金)午後3時からに決定</p>		
公開又は非公開の別	公 開	非公開の場合 その理由（一部非公開の場合を含む）	

- 1 開会
- 2 委嘱状交付（次回に変更）
- 3 部長あいさつ（町長あいさつは次回に変更）
- 4 委員自己紹介

5 会長・副会長の選出

【事務局】まちづくり推進会議の会長、副会長は、寒川町まちづくり推進会議規則第3条第1項に基づき、委員の互選により選出することとなっております。皆様の中でご推薦もしくは立候補はございますか。

【山下委員】名簿で一番上になっておりますので、口火を切らせていただいてもよろしいでしょうか。ご承認いただければ、私の考えていることをお話しさせていただきたいです。私の希望といたしましては、杉下元会長に是非ともお願いしたいです。今年2月5日のまちづくり懇談会の際、杉下会長のコーディネーターとしてのお仕事、ものすごく感心させていただきました。なかなか普通の方にお出来になるようなことではないと感銘いたしました。私の知識は狭いので、たくさんのごことは分かりませんが、ご信頼申し上げて、お願いできればという気持ちを持っております。もしよろしければ、どうぞ意見としてお取りくださいませ。よろしくお願いいたします。

議事の経過

【事務局】ありがとうございます。ただいま、杉下委員を会長にとのご推薦がありましたが、他にご推薦はございませんでしょうか。他にお声がないようでしたら、杉下委員に会長をお願いさせていただきたいと思いますが、ご異議はございませんか。

（各委員、「異議なし」の意思表示あり）

【事務局】ありがとうございます。では、杉下委員、会長をお引き受けいただけますでしょうか。

【杉下委員】山下委員から過分なご紹介をしていただき、多分この中で一番会議全体に関わっている期間が長いと思いますので、ご指名にお応えできるよう、微力ながら会長職を務めさせていただきます。よろしくお願いいたします。

【事務局】ありがとうございます。それでは、杉下委員に会長をお願いしたいと思います。早速ですが、会長よりご就任の挨拶をお願いいたします。

【杉下会長】微力ながら頑張りますので、皆様、建設的な意見を1つでも多く出していただければと思います。よろしくお願いいたします。

【事務局】続きまして、副会長につきましても同様に決めてま

いりたいと思います。推薦もしくは立候補などございましたらお願いいたします。

【杉下会長】私から提案させていただきたいのですが、私の地域活動の原点は藤沢青年会議所であり、地域活動をしておりました。その後輩として一緒に活動し、今でも地域活動を一緒に行い、最近、寒川町に引っ越されてきた橋口委員にやっていたければ、会議の推進とともに、様々な地域活動の事例のお話もできるかなと思いますので、橋口委員をご推薦させていただきます。よろしく願いをいたします。

【事務局】ただいま、橋口委員にご推薦がありましたが、副会長をお引き受けいただけますでしょうか。

【橋口委員】ありがとうございます。私の青年会議所時代、寒川ではありませんが、寒川青年会議所と合同で事業を行い、どこか寒川に縁があるのかなと感じております。元藤沢住民からの視点と現在の町民からの視点で皆さんにお力添えできればと思いますので、どうぞよろしく願いいたします。

【事務局】ありがとうございます。それでは、会長を杉下委員に、副会長を橋口委員にお願いしたいと思います。ここで、傍聴希望者の報告です。本日、会議の傍聴希望者は0名でした。

6 議事録承認委員の選出

【事務局】続きまして、次第6、議事録承認委員の選出でございます。まちづくり推進会議では、原則、公開、傍聴が可能であり、会議終了後には議事録を作成いたします。議事録には、発言者の氏名を含め、議事の内容をまとめた後、寒川町審議会等の会議の公開に関する規則第8条第2項に基づき、会議ごとに指名される議事録承認委員に確認を取った後に、ホームページなどで公開をさせていただきます。これまで、まちづくり推進会議では、資料1の名簿の上から順、かつ当日の出席委員の中から議事録承認委員を指名しております。つきましては、今回の議事録承認委員に、名簿の1番、山下委員と、2番、中島委員をご指名することに異議はございませんでしょうか。

(各委員、「異議なし」の意思表示あり)

【事務局】ありがとうございます。それでは、山下委員、中島委員、ご承諾いただけますでしょうか。

(山下委員及び中島委員、承諾の意思表示あり)

【事務局】ありがとうございます。それでは、本日の会議の議事録承認委員は、山下委員と中島委員に決定をさせていただきます。よろしく願いいたします。これ以降の議事の進行につ

きましては、寒川町まちづくり推進会議規則第4条の規定に基づき、杉下会長に進行をお願いいたします。よろしくお願いいたします。

【杉下会長】ありがとうございます。ここからの進行は私が務めさせていただきたいと思っておりますので、よろしくお願いいたします。事務局に1点、進める前にお願いしたい。来庁委員の部屋が画面だと小さくて見えにくいので、もし札を挙げた場合、お声かけをしていただければと思いますので、よろしくお願いいたします。早速、議題に入りたいと思っております。7番の議題、今期会議のスケジュール、及び検討項目について入りたいと思っております。事務局よりご説明をお願いいたします。

7 議題

今期会議のスケジュール、及び検討項目（資料2、3）

【事務局】-資料2、3に沿って説明-

【杉下会長】ありがとうございました。確認も含めてということで、今期会議のスケジュールでは、この2年間で、大体3箇月に1回のペースで開催ということなので、都度、次回の会議日程を報告もしくは調整して、事務局より郵送等でご連絡します。皆さんなるべくご出席を賜ればと思います。続いて、検討項目のシンボルマークと公募委員サロンについて、事務局から、このようなものをぜひご検討、ご意見を賜ればということでした。

この2つに関して、今、ご説明ありましたが、あくまでも事務局からの提案ですので、皆様から、このようなことも一緒に議論をしたいや、したほうが良い等あれば、ご提案をいただければと思います。加えて、米印にありました、まちづくり懇談会について、前期で初めてZoom開催という形でさせていただきました。今までは町長と町民が直接意見のやり取りをするという形をとっていました。町長と直接相對して話すという機会は非常に良い機会なのですが、コロナでできていませんでした。ですが、Zoomという新しい手法を活用し、町長と直接やり取りができる貴重な機会を初めて設けることが出来ました。まだコロナも続いている状況の中、町民が直接町長に貴重な意見を言う、また、町長からの情報提供もいただき、双方向のやり取りができたということがあります。コロナ禍でできないではなく、できることを模索しながら、町長と町民がやり取りし、寒川町のまちづくりを共に手を取り合い、できればという機会を11月に予定しています。町長の日程等もあるので、今回は11月12日開催で日程は決まってしまいましたが、内容については、これから皆様のご意見をいただきながらのテーマ設定や前回の良かった点、悪かった点をもう少し詳細にご報告しながらブラッシュアップした形で、11月12日に、よりよいまちづくり懇談会ができるように、推進会議でも意見をいろいろ

る賜っていききたいと考えております。今、事務局から、全体に頭出しという感じで、いろいろご提案をいただきました。それに関して、何かご意見、ご質問等があればよろしく願いをいたします。

私から1点よろしいですか。シンボルマークの作成については、どのぐらいのタイムスケジュールで、募集をかけ、決定をしていききたいのかというところのビジョンやスケジュール案があれば、教えていただきたいです。

【事務局】シンボルマークについて、事務局では、募集のかけ方も含めて、皆様に検討していただきたいと思っております。この審議会の中で決めていく方法や募集をかける方法。かける場合、どのような形でやっていくのか。ただ、最終的には、第8期の成果として、出来上がったものを町長に報告しますので、タイムスケジュールも考えながら、皆様のご意見をいただきたいと思っております。

【杉下会長】ありがとうございます。シンボルマークは、公募をかけるのか、推進会議の中でやるのかというところ。時間軸の終わりは第8期の報告として上げるところです。

まず、一つ一つ確認をしていききたいのですが、シンボルマークについて、この推進会議もいろいろな団体や町民の方、一般公募の方も多く参加され、全16名で構成をしております。この推進会議の中で議論を重ね、シンボルマークや、キャッチフレーズを決めていくのか、一般公募で決めていくのか。一般公募をした場合、審査会を設け、最終決定があると思いますが、それ以外にもやり方はあると思う。それについて何か、ご意見等があればお願いをしたいのですが、よろしく願いいたします。

山下委員、お願いいたします。

【山下委員】シンボルマークについて、一般公募はすごく難しいことかもしれませんが、子どもの発想やいろいろな方の特技として絵をお描きになる方もいらっしゃると思います。いろいろな立場の方、皆様にちょっとした着眼点のようなアイデアをいただくと、ユニークなものができるのではないかなという気はします。その後の収拾は、会長の手腕やいろいろなものでお手間はかけるかもしれませんが、この会で決めてしまうより、ちょっとした外に公募を出していただくと楽しいことができるのではないかなという気持ちはあります。

【杉下会長】山下委員、ありがとうございます。他にご意見はございますか。小菅委員、お願いいたします。

【小菅委員】このシンボルマークは既定方針として、やろうと

いう前提の話になっていると思いますが、質問として、何のためのシンボルマークを作るのかがまず1つです。それと、蕨市がシンボルマークを作ったことについて、作った前と後で、蕨市民のまちづくりに対する意識が変わったなどの、前後での変わり方や違いは何かありますか。この2点をお聞きしたいです。

【杉下会長】小菅委員、ありがとうございます。事務局で、何か情報や蕨市の状況等の持ち合わせがありましたらお願いいたします。

【事務局】今回、この検討項目を提案した背景は、多くの協働事業が寒川町で実際に行われていますが、それが協働事業でやったものか一目見て分からない状況です。例えば、今、協働事業としてスイセンを植えています。植栽しているところに協働マークがあれば、このスイセンは協働事業で植えられたのだと分かります。そのような一目で分かる効果を狙い提案しています。もう1点、蕨市のマーク導入前後について、こちらにつきましては、直接、蕨市に何かを確認したというわけではありません。先日、内部でこのようなものを参考事例としてピックアップいたしました。申し訳ございませんが、今、手元では、こういった協働マークを取り入れる前と後でどのような効果が得られたかというのは分かりません。ただ、やはりそういったことが住民の方の目に触れることで、「こういうのが協働事業なんだ」「これ、協働でやったんだね」と分かるようなまちづくりが進められたらと思い、提案しました。

【小菅委員】分かりました。ありがとうございました。

【杉下会長】小菅委員、ありがとうございます。事務局に1点お願いしたいのですが、次回の会議までで構いませんので、今、小菅委員が言われた意見は大変貴重なものだと思うため、蕨市さんにも確認し、この前後の効果や相乗効果について、もしかしたらネットからでは見えない情報もあるかもしれませんので、ご報告していただければと思います。

【事務局】事務局も、実際の蕨市の声を確認したいと思っています。一体どのような効果があったのか。また、もしかしたら、ロゴマークを取り入れるに当たって、課題等あったかもしれませんので、その点も含めて聞いてみたいと思います。次回ご報告させていただきます。

【杉下会長】急な宿題を作りましたが、よろしくお願いいたします。他の委員さんから何かご質問等ございましたら、またご意見ありましたらお願いをいたします。

【杉下会長】では、1つずつ順番に、まず、①協働の見える化「シンボルマークの作成」について、先ほど山下委員から、公

募で行ったらどうかというご意見を賜りました。また、小菅委員から、蕨市の状況についてお聞きをしました。次回、蕨市の調べたご報告もあるので、基本路線としては公募するというところで、また、公募した場合、どのような手法があるのか確認し、次回の会議で出していく流れでよろしいでしょうか。あわせて、蕨市の取扱いや状況、メリット・デメリットがあれば、次回、シンボルマークを進めるに当たって、内部でやるのか、公募でやるのかというところを決定したいと思います。シンボルマークを作成することについて、この推進会議で取り上げることは皆さんよろしいですか。

(各委員、「異議なし」の意思表示あり)

【杉下会長】ありがとうございます。では、引き続き、いろいろな情報をいただきながら、良い形で進めたいと思います。続いて、②の審議会の公募委員です。先ほど京都の事例がありましたが、せっかく公募委員として町にいろいろな意見を出せる貴重な機会があるにも関わらず、調査をすると「そんなのやっていたの」や「知らなかったよ」という声があります。「いや、審議会は入ってもなかなか難しいから、私なんて」、「こんな意見を言っても恥ずかしいのではないか」と勝手に誤解をされて、手を挙げられない方もいらっしゃると思います。そのような点を気軽に参加しても平気ということや、こういうのがあると知る機会になり、町にとってもメリットになると思います。公募サロンの開催について、何かご意見やご質問ございましたらお願いをしたいと思います。

では、私から1点。この公募サロンは令和3年8月に開催されたという資料をいただいたのですが、本年度の令和4年度も開催をする予定や情報を持ち合わせていますか。

【事務局】準備不足で申し訳ありませんが、本年度の状況について、京都市に確認を取っておりません。公募委員サロンについて、町で提案したケースに、少し補足させていただくと、公募の人数が横ばいということで、何とか公募委員を増やしていくことを目指しています。平成23年から大体30人ちょっとの公募委員の皆様が活躍をされております。令和3年度には41名の公募委員の方がいらっしゃいまして、それぞれの審議会でご活躍いただいています。審議会同士、横のつながりはありませんので、今年度はまだ募集もかけているところではありますが、昨年度公募していただいた方や過去にご参加いただいた方も含めて交流を図り、「こんな審議会に私も参加してみたい」といった形で進めていきたいと考えております。

【杉下会長】ありがとうございます。このまちづくり推進会議もそうですが、今回初めて公募で入られた方もいるので、発言とか、また楽しくできればとか、いろいろご発言があったと思

うので、推進会議を進めながら、そこで皆さんがまず、当事者として、今、関わっていらっしゃる方も多いわけなので、そういう実体験を踏まえながら、この公募サロンの在り方や運営の仕方とか、そういうのも一緒に考えながら、まず、トライアル的にやってみるのも1つ、実証実験という言い方がよろしいかどうか分かりませんが、やるという方向で、引き続き検討させていただきたいと思いますが、よろしいでしょうか。

(各委員、「異議なし」の意思表示あり)

【杉下会長】ありがとうございます。では、これは公募サロンを寒川版として、どこかのタイミングでやるという方向で、引き続き、運営方法は推進会議で皆さんのご意見を賜りながら形づくっていくという方向で進めさせていただきたいと思います。今、事務局から提案を2ついただいたのですが、先に、まちづくり懇談会について進めます。まちづくり懇談会を11月12日に開催をするということで、これは議題ではなく報告案件ということなので、次回以降に、前回の懇談会の報告内容等があると思いますので、前期の第7期でまとめたものもあると思います。そのようなご提示もしながら、参考に11月12日に向けての作り込みをするということで、今日は頭出しという捉え方でよろしいですか。

【事務局】今、杉下会長からご説明いただきましたが、今年度、11月の開催につきましては、広報9月号で募集の開始が始まります。その中で、オンラインでの開催、そして、今年度は傍聴の枠も設けるといったことまで、全て広報で周知をしてしまいます。今年度の開催につきましては、第7期の意見を取り入れた形で、事務局案としてお示しをしているとご理解いただけると助かります。今回の懇談会終了後のアンケートを踏まえ、来年度のまちづくり懇談会で、皆様の意見を取り入れていただけたらと考えております。

【杉下会長】ありがとうございます。時間的にも、スケジュール案を見ると、ちょっと間に合わないと思うため、それを踏まえて、今回このように作り込みをし、終わった後の検証結果を推進会議で議論して、今後に生かしていければと思います。これは常に進化して、よりよいものを作るところで継続して、皆さんにご意見を賜りたいということです。報告案件として、皆さんにご承知おきをいただければと思います。事務局からご用意いただいた提案事項は以上となりますが、先ほど事務局からお話がありましたように、これ以外にも協働事業として、この推進会議で検討したらよろしいのではないかとのご意見等々があればお伺いしたいです。何かございますか。よろしいですか。来庁委員さんもよろしいですか。では、ここで一度、議題は閉じさせていただいて、その他を先に進めさせていただきま。もし何かあれば後で挙手いただければと思います。

【杉下会長】続きまして、8番のその他、委員の推薦について、(1) わたしの提案制度褒賞審査会、(2) 協働事業選考委員会、(3) 指定管理者選定委員会について、まず、(1)、(2)、(3) をまとめてご説明、ご提案いただければと思います。事務局、お願いいたします。

8 その他

(1) 委員の推薦について

【事務局】-資料4、5に沿って説明-

(1-1) わたしの提案制度褒賞審査会

【杉下会長】ありがとうございます。(1) わたしの提案制度褒賞審査会について、2名推薦をいただきたいと依頼が来ているというご説明でした。まず、こちらの審査会に、ぜひやってみたいという方がいらっしゃいましたら、挙手をお願いしたいと思います。

(各委員、挙手なし)

【杉下会長】特に挙手はないようなので、もし事務局でご推薦者がいらっしゃいましたらお願いをいたします。

【事務局】事務局といたしましては、前回お引き受けいただきました庭野委員と相田委員にお願いをしたいと考えております。

【杉下会長】ありがとうございます。庭野委員と相田委員に継続してお願いするというのが事務局からありましたが、特にご異論がなければ、このお二方をお願いしたいと思いますが、いかがでしょうか。よろしいですか。

(庭野委員、承諾の意思表示あり)

【杉下会長】ありがとうございます。では、わたしの提案制度褒賞審査会に関しては、庭野委員と相田委員にお願いをしたいと思います。

※後日、相田委員に承認の意思を確認

(1-2) 協働事業選考委員会

【杉下会長】もう一つ(2) 協働事業選考委員会は、3名の推薦依頼が来ております。こちらにご希望ややってみたい方がいらっしゃいましたら、挙手をお願いしたいのですが、特に挙手がないようなので、また、事務局で推薦者があればお願いをいたします。

【事務局】協働事業選考委員会につきましては、まちづくり推進会議から、正副会長にお願いをしたいと考えております。3名ですので、もう1名につきましては、公募委員の山下委員がみんなの協働事業のプレゼンテーションによく足を運んでいただいておりますので、山下委員にお願いをしたいと考えております。

【杉下会長】慣例的に正副会長が出るということで、今回、先ほど、会長は私がご指名いただき、橋口委員が副会長に就任されたということで、私と橋口副会長、それと山下委員の3名で、推薦委員の3名となります。もしそれでよろしければご承認をいただければと思うのですが、各委員さんいかがでしょうか。

(各委員、「異議なし」の意思表示あり)

【杉下会長】ありがとうございます。異議なしというのが出ましたので、3名で推薦とさせていただきたいと思います。

(1-3) 協働事業選考委員会

【杉下会長】(3)の指定管理者選定委員会は、前期から私が出向させていただいております。こちらの推進会議と指定管理者選定委員会の任期がずれている関係と、指定管理なので、指定をした、また、その中間報告等々もありますので、指定管理者選定委員会の期が替わるタイミングまでは私が務めさせていただいて、期が替わるときに改めて、こちらの推進会議に委員の推薦依頼が来たときに、この場で協議させていただき、委員を決めるという流れでご承認をいただきたいと思います。引き続き私が出向という形になりますが、それでよろしいでしょうか。

(各委員、「異議なし」の意思表示あり)

【杉下会長】ありがとうございます。推進会議に恥じないように、一生懸命頑張ってまいりたいと思います。ありがとうございます。もう一つ、その他、項目があります。今後の資料の受け取り方法について、事務局よりご説明をお願いいたします。

(2) 今後の資料の受取り方法

【事務局】-資料6に沿って説明-

【杉下会長】ありがとうございます。環境に配慮して、なるべくペーパーレス化でお願いしたいところです。郵送というところも、細かいですが、郵送料に税金を使ってお送りするため、無駄な税金を使わず、こつこつ進めていくことも大切なので、できるだけ電子データ、メールで資料をいただくと大変助かります。それは事務局にご連絡をいただければと思います。よろしくをお願いいたします。次第にあるものは終わったのですが、

	<p>追加で事務局から、その他項目で何かございますか。</p> <p>次回会議日程調整 - 10月14日（金）午後3時からに決定 -</p> <p>【杉下会長】ほかに、委員さんから何かございますか、よろしいでしょうか。特になければ、今日は第1回目なので顔合わせ的なところで、短時間で終了という形になりますが、第2回目以降、皆さんの意見をいろいろ取り上げながら、白熱した、かつ楽しい推進会議で進行させていただきたいと思いますので、これから2年間、ちょっと頼りない会長かもしれませんが、円滑な進行に努めてまいりますので、ご協力賜ればと思います。よろしく願いいたします。では、ここで私は議長を下ろさせていただき、事務局に進行をお戻しさせていただきたいと思います。よろしく願いいたします。</p> <p>【事務局】杉下会長、どうもありがとうございました。次回の会議につきましては、対面での会議を予定しております。Zoom会議に不慣れなところもあり、大変ご迷惑をおかけしてしまい、申し訳ございませんでした。開催方法や開催通知につきましては、またご連絡をさせていただきます。では、以上をもちまして、第8期まちづくり推進会議第1回会議を終了といたします。本日は突然のオンライン開催にご協力いただき、ありがとうございました。</p>
<p>配付資料</p>	<p>資料1 第8期寒川町まちづくり推進会議 委員名簿</p> <p>資料2 第8期寒川町まちづくり推進会議 スケジュール（案）</p> <p>資料3-1 第8期寒川町まちづくり推進会議 検討項目（案）</p> <p>資料3-2 蕨市「協働」のシンボルマークキャッチフレーズ 利用マニュアル</p> <p>資料3-3 市民公募委員サロンだより</p> <p>資料3-4 まちづくり懇談会（第24回）</p> <p>資料3-5 まちづくり懇談会（第25回）</p> <p>資料4-1 わたしの提案制度褒賞審査会委員の選出について</p> <p>資料4-2 わたしの提案制度運営要綱</p> <p>資料5-1 協働事業選考委員会委員の推薦について</p> <p>資料5-2 協働事業選考委員会設置要綱</p> <p>資料6 今後の資料の受取り方法</p>
<p>議事録承認委員及び 議事録確定年月日</p>	<p>山下委員、中島委員（令和4年9月28日確定）</p>